

# 第5回 江東未来会議

## (第5分科会：行財政運営・協働)

### 次 第

日時:平成19年12月18日(火) 午後7時00分～9時00分

場所：江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

- 1 開会
- 2 本日のワークショップの進め方について
- 3 ワークショップ
  - ① めざすべき将来像、課題、施策・事業等の確認
  - ② 重点テーマごとの課題・施策に関するグループ討議
  - ③ めざすべき将来像の確定
  - ④ 全体報告・意見交換
  - ⑤ 分科会全体としての方向性の確定
- 4 その他（事務局からの連絡事項等）
- 5 閉会

(配付資料)

- これまでの議論内容の整理（論点整理表）
- 江東未来会議提言書の作成に向けた今後の進め方について
- 江東未来会議提言書の構成（案）

(事前配付資料) ・ ・ 開催案内同封資料

- 第4回江東未来会議 議事概要
- 第4回江東未来会議 討議結果図
- 第5回江東未来会議 討議のながれ

■これまでの議論内容の整理（第5分科会）

	Aグループ	Bグループ	Cグループ
将来像	<p>&lt;ムダな予算・事業執行のない行政になっている&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>税金がムダに使われない行政に</li> <li>第三者の評価により事業が改善されるシステムが実現。また、評価結果が公開されている</li> <li>将来の少子化に対応できる財政基盤ができています</li> </ul> <p>&lt;区民協働のための予算編成の仕組みがある&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民と地域が協働で立ちあげる事業のコンテストに優先的に予算配分</li> <li>NPOの活動を支援する基金</li> <li>単年度予算でなく複数年度予算になり、柔軟な予算編成ができています</li> <li>予算編成（税の使い方）について区民参加・区民の意見を聞く場が設けられている。</li> </ul>	<p>&lt;区民のために動いてくれる区役所になっている&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*本気になってくれる行政に（モットーがある）</li> <li>職員の理念が統一されている「区民のために」</li> <li>質の高いサービスを提供する職業としての意識</li> <li>区内在住職員による地域への愛情のある区政</li> <li>慣れた過去に縛られない行政</li> <li>親切な人のいる出張所、みんなが集まる区役所</li> <li>*区役所の仕組みが改革されている</li> <li>縦割り行政の弊害が排除されている</li> <li>職員の人事異動は機械的でなくなっている</li> <li>区内でも地域ごとに違った公共サービスもある</li> </ul> <p>&lt;民間・他区・NPO等と分担した公共サービス提供&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間の企業・人材を適所で活用した事業の実施</li> <li>他の区や市と協働して活動を展開している</li> <li>都の資源を有効に利用できるようになっている</li> <li>NPOと行政で対等の関係ができています</li> <li>区民も行政から自立している</li> </ul>	<p>&lt;多様な層の参画が実現している&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*区民の参画意向が醸成されている</li> <li>区民が自ら役割を意識し区政に参画</li> <li>*多様な層が参画できる仕組みができています</li> <li>個人・家庭・団体など参画の形態が多様化</li> <li>男女が対等に参画できている</li> <li>在勤者、外国人、子どもも参画できている</li> </ul> <p>&lt;区民の声が活かされる行政・議会を実現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*区議会運営ちゃんとやってほしい</li> <li>区民が参加できるよう夜間開催もある</li> <li>区議会は10人位の賢人会議になっている</li> <li>区議の何名かはしがらみのない無給議員</li> <li>*区民の声を活かすしくみができています</li> <li>施設計画段階でも、運営・管理段階でもに区民の声がいかされるように</li> <li>街角ポスト等の設置による区民の声の収集</li> </ul>
将来像 (タittel)	- (行政の新評価システム)	わかりやすい行政	- (区民・事業者・行政の参画)
将来像に向けた問題点・課題	<p>&lt;評価システムを知らない、仕組みが難しい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行評価システムをほとんどの区民は知らない</li> <li>評価方法・対象事業が区民に知らされていない</li> <li>現行評価は専門的すぎる。区民の参加は難しい</li> </ul> <p>&lt;評価の内容はこれでよいのか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今の評価は行政内部の自己評価のみ</li> <li>区民が評価に参画していない</li> <li>評価の反映方法や評価基準が不明・不透明</li> </ul>	<p>&lt;職員の区政へのビジョンが共有されていない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような行政を目指すのか共有されていない</li> <li>新しい職員も次第に言い訳がうまくなっていく</li> <li>区長への手紙も十分な討議による回答でない</li> </ul> <p>&lt;協働・参画のための行政の準備ができていない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前例主義、できる可能性よりもできない理由</li> <li>協働の場がまだ十分に確保されていない</li> </ul> <p>&lt;組織や施設の内容や位置づけがわかりにくい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同じような仕事の課が異なる部に併存している</li> <li>施設も名称や内容が類似しているものがある</li> </ul>	<p>&lt;協働のための仕組みがまだできていない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の運営・管理が協働でない</li> <li>審議会委員の選定のあり方</li> <li>参画を求める区の事業が情報公開不足</li> </ul> <p>&lt;関心の薄い層、通勤者の参画が弱い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関心の薄い人を巻き込むことができていない</li> <li>通勤・通学者が意見を言える場が少ない</li> </ul> <p>&lt;ボランティア活動に対する支援策が不十分&gt;</p>
取り組みの方向性／アイデア事業	<p>&lt;評価する人、組織を新たに作る&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→第三者評価委員会が想定されているが内容、評価方法などは本日検討予定</li> <li>→上記は単に評価だけでなく、その後の対策の提言、一定期間後の再評価なども行うことを想定</li> <li>→評価と表裏一体だが将来像にある「予算編成」のあり方については具体的な提案はなくてもよい。</li> <li>(その場合、現状の問題点はなにか)</li> </ul>	<p>&lt;区民協働のコーディネート組織の設置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民と職員で構成される「区民の声を活かしま省」を設置し、迅速な対応を実現する</li> </ul> <p>&lt;協働・参画、スリム化を進める情報ツールの整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→情報ツールを用いたソフトの取組が重要であり、区民・区・事業者が分担して行っていく事業を本日検討予定</li> <li>→公共サービス提供方法（主体）についての「わかりやすさ」に検討しなくてよい。</li> </ul>	<p>&lt;協働、ボランティア支援のための仕組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→具体的な仕組み、新たな層を取り込んでいく仕組みについては、本日検討予定</li> <li>→求められる仕組みのイメージについては、将来像の部分でかなり言及されているので参考にしよう。</li> <li>→重点検討対象から外れた「議会」の取り扱いについて検討（Aグループとの棲み分けなど）</li> </ul>

取組の方向性、アイデア事業における区と区民、市民団体、事業者等の役割分担を明確に

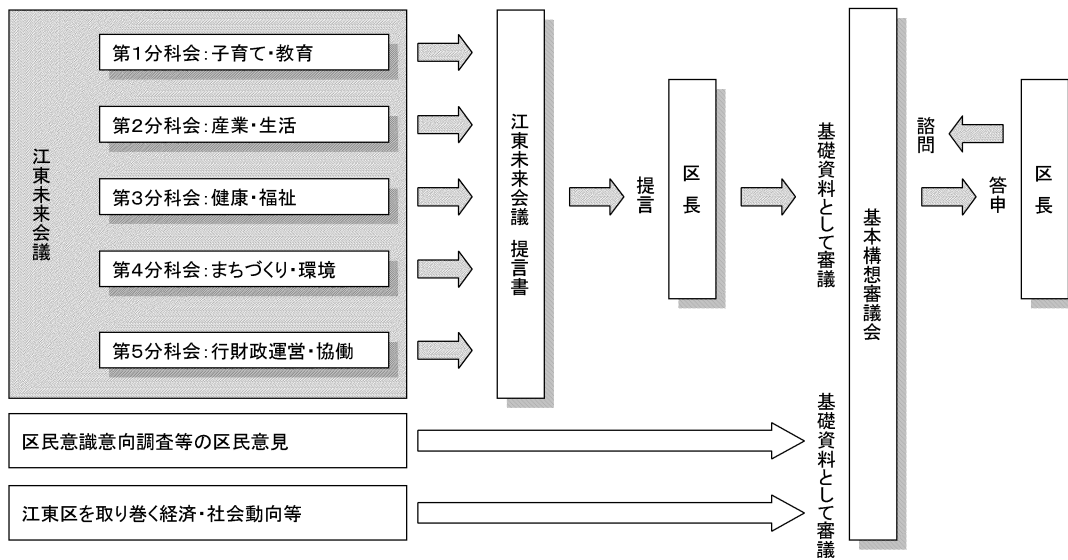
# 江東未来会議提言書の作成に向けた 今後の進め方について

## 1. 江東未来会議提言書について

### (1) 江東未来会議提言書の位置づけ

- 江東未来会議提言書（以下「提言書」）は、江東区基本構想審議会で審議する際の基礎資料の1つとして、江東区の望ましい将来像とその実現のための取り組みについて、全区的な観点から実現可能性や優先性などを意識し、区民の視点から具体性のある提案を行うために作成するものです。

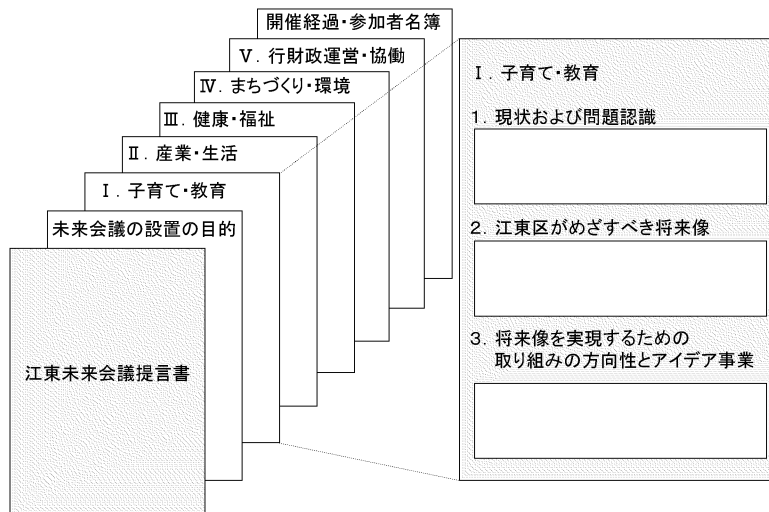
図1 江東未来会議の位置づけ（第1回会議資料再掲）



### (2) 提言書の構成

- 提言書は、各分科会の検討対象分野に沿った5つの分野で構成します。
- 各分野の内容は、「現状および問題認識」「江東区がめざすべき将来像」「将来像を実現するための取り組みの方向性とアイデア事業」の3つの共通項目に沿って、各分科会におけるこれまでの検討結果をもとに整理したものとします。

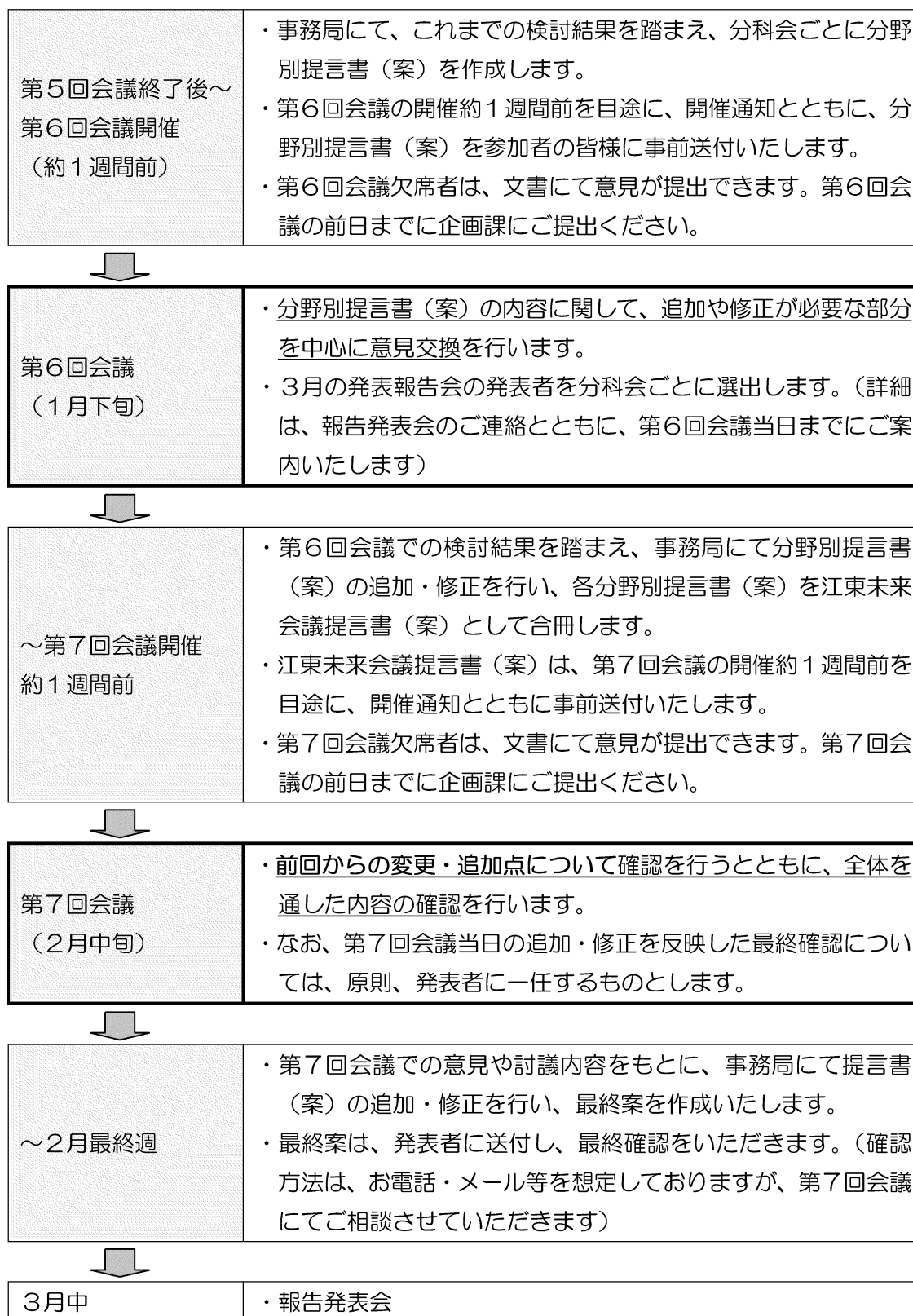
図2 提言書の構成イメージ（詳細別紙参照）



## 2. 提言書の内容確認の流れ

- ・提言書の内容は、以下の流れに沿って、分科会ごとに確認をいただきます。
- ・第7回会議終了後3月中に、提言書を広く区民に発表し周知することを目的として、報告発表会を開催します。（※報告発表会の詳細については、第6回会議までにご案内いたします）

図3 提言書の内容確認の流れ





# 江東未来会議提言書の構成（案）

## <分野別部分>

現状および問題認識に関する論点整理結果（これまでの討議結果資料を想定）を図として適宜掲載

## II. 産業・生活分野

将来像に対応する3つ程度のテーマ毎に作成

### 1. 現状および問題認識

内容を端的に目出し

#### (1) 産業・消費生活

##### ■区内における区民の消費活動が少ない

- ・区民は、銀座や日本橋など区外で消費していることが多くなっている。
- ・

これまでの検討成果のうち、現状認識（よい点／悪い点）、課題等を、箇条書きで表現

##### ■

- ・
- ・

#### (2) コミュニティ

##### ■世代間のコミュニケーションの場が必要

- ・
- ・

#### (3) 文化・観光

##### ■歴史ある下町と臨海部の新しいまちがある

- ・
- ・

(提言の冒頭に将来像の一覧整理を掲載します)

## 2. 江東区が目指すべき将来像

### (1) ~なまち

#### ~なまち

将来像の内容を5~10行の文章で説明

### (2) ~できるまち

#### ~できるまち

### (3) ~のまち

#### ~のまち

将来像に関する論点整理結果(これまでの討議結果資料を想定)を図として適宜掲載

### **3. 将来像の実現に向けた取り組みの方向性とアイデア事業**

#### **(1) ~のまちを実現するために**

##### **①取り組みの方向性**

<input type="checkbox"/> ~を進めます
<input type="checkbox"/> ~に努めます
<input type="checkbox"/> ~を図ります
<input type="checkbox"/> ~

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取り組みの方向性の内容を  
5~10行の文章で説明

##### **②実現に向けたアイデア事業**

<〇〇事業>

将来像の実現に向けたアイデア事業の概要（取り組み主体・取り組み内容・ねらい等）を表現します。全くの新規アイデアから既存事業の見直しまで、対象も地域コミュニティレベルから、区外を対象とした大規模なキャンペーンまで、多岐・広範に及ぶことが想定されるため、表現の様式は各部会・各将来像自由とします。ただし、全体のバランスを考慮し、各将来像で最大1頁以内に収めるものとします。

#### **(2) ~のまちを実現するために**

##### **①取り組みの方向性**

##### **②実現に向けたアイデア事業**

#### **(3) ~のまちを実現するために**

##### **①取り組みの方向性**

##### **②実現に向けたアイデア事業**



## 第5回江東未来会議（行財政運営・協働分野）討議の流れ

～最終的な課題・事業等の深耕とめざすべき将来像の確定、分科会全体の方向性の検討～

### 1. 本日の討議の目的

第4回に引き続き、グループA、B、Cごとにめざすべき将来像に向けて、①課題の深耕、是非取り組みたい施策、事業等の最終的な検討を行います。その上で、②めざすべき将来像のタイトル・文言等を再チェックし、さらに③分科会全体としての方向性を文言化します。

### 2. 進め方

#### (1) めざすべき将来像、課題、施策・事業等の確認（事務局整理・作成の確認）

- ① 第4回の討議（A・B・Cグループの討議結果）を踏まえ、事務局で整理・作成した資料を確認します（A・B・Cグループごとに着席）。
- ② ①について、合意が得られた場合は、整理・作成しためざすべき将来像に基づいて、本日の討議を進めます。

#### (2) 重点テーマごとの課題に関するグループ討議（討議1：課題の抽出・整理、施策・事業等の検討）

- ① グループ討議の内容：「行財政運営・協働分野における課題の抽出・整理」
  - ・ 今回のグループ討議の内容は、第4回に続いての最終的な深耕です。具体的には、(1)で確認された、めざすべき将来像のテーマごとに、「めざすべき将来像」を実現するうえで解決すべき課題、問題点と、それを解決する具体策（施策・ハード事業・ソフト事業等）について最終的な検討をします。
  - ・ 参考のために、事務局から、グループ別のこれまでの討議状況、他のグループとのバランスを踏まえ、もう少し煮詰めるとさらに良いのではといった点について整理した一覧表も提示します。
- ② グループ討議の方法
  - ・ グループ内で討議の進行役を決めて頂き、進行役の方を中心に、グループ全員で討議してください。
  - ・ 記録に残すべき事項は、各人がポストイットに記入・貼付することが基本ですが、別途記入係が必要と判断した場合は、誰か1人に任せるのではなく、分担あるいは、持ち回りで行うようにしてください。
  - ・ グループごとの討議の記録は、ポストイットと模造紙に書き出された内容をもとに事務局が作成します。記録に残したい意見等はすべてこれらに書き出すようにしてください。

#### (3) めざすべき将来像の確定（討議2）

(2)を踏まえて、「めざすべき将来像」のタイトル・文言等を再チェックし、確定します。例えばBグループでは、「最適の主体・方法により公共サービスの提供・実施がされている」→「分りやすい行政」と進化しています。討議1の内容を的確に表すタイトルを考えてください。

#### (4) 全体報告・意見交換

討議1、討議2の内容を他のグループに披露し、内容を共有します。

#### (5) 分科会全体としての方向性（討議3）

全体報告・意見交換を踏まえ、さらに討議2で検討された各グループの方向性（タイ

トル)を見ながら、では「行財政・協働分野」の分科会全体としては、こういうことをいいたいのだという大タイトルを考えてみてください。

例えば、「『協働』『参画』により開かれた分りやすい行財政が実現されている。」これが当分科会の報告書の伝えたい内容の骨子になります。

(6) 次回へ向けての検討

- ・ 報告書

3. 時間配分（あくまで目安）（19時00分～21時00分）

*本日の進め方の説明	19時00分～19時10分
(1) めざすべき将来像、課題、施策・事業等の確認	19時10分～20時30分
(2) 重点テーマごとの課題に関するグループ討議 (討議1)	
(3) めざすべき将来像の確定（討議2）	20時30分～20時50分
(4) 全体報告・意見交換	
(5) 分科会全体としての方向性の検討（討議3）	20時50分～21時00分
(6) 次回向けての検討	
*休憩は適宜	

以上

■これまでの議論内容の整理（第5分科会）

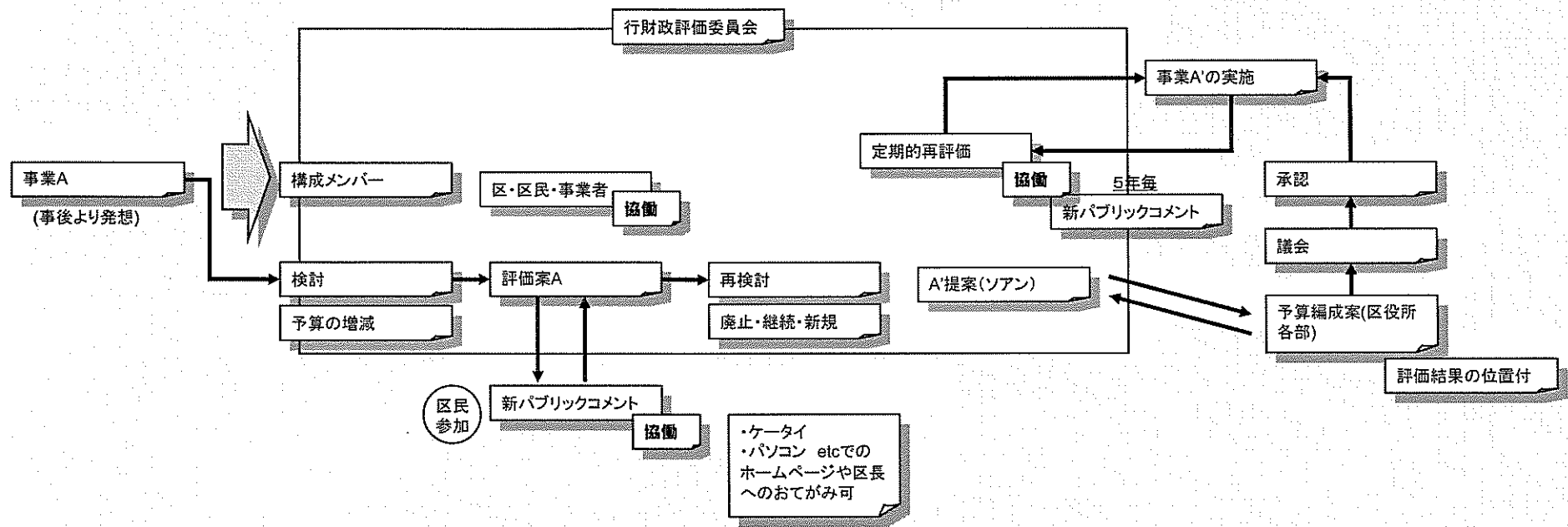
	Aグループ	Bグループ	Cグループ
将来像	<p>&lt;ムダな予算・事業執行のない行政になっている&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>税金がムダに使われない行政に</li> <li>第三者の評価により事業が改善されるシステムが実現。また、評価結果が公開されている</li> <li>将来の少子化に対応できる財政基盤ができています</li> </ul> <p>&lt;区民協働のための予算編成の仕組みがある&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民と地域が協働で立ちあげる事業のコンテストに優先的に予算配分</li> <li>NPOの活動を支援する基金</li> <li>半年度予算でなく複数年度予算になり、柔軟な予算編成ができています</li> <li>予算編成（税の使い方）について区民参加・区民の意見を聞く場が設けられている。</li> </ul>	<p>&lt;区民のために動いてくれる区役所になっている&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*本気になってくれる行政に（モットーがある）</li> <li>職員の理念が統一されている「区民のために」</li> <li>質の高いサービスを提供する職業としての意識</li> <li>区内在住職員による地域への愛情のある区政</li> <li>慣れた過去に縛られない行政</li> <li>親切な人のいる出張所、みんなが集まる区役所</li> <li>*区役所の仕組みが改革されている</li> <li>縦割り行政の弊害が排除されている</li> <li>職員の人事異動は機械的でなくなっている</li> <li>区内でも地域ごとに違った公共サービスもある</li> </ul> <p>&lt;民間・他区・NPO等と分担した公共サービス提供&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間の企業・人材を適所で活用した事業の実施</li> <li>他の区や市と協働して活動を展開している</li> <li>都の資源を有効に利用できるようになっている</li> <li>NPOと行政で対等の関係ができています</li> <li>区民も行政から自立している</li> </ul>	<p>&lt;多様な層の参画が実現している&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*区民の参画意向が醸成されている</li> <li>区民が自ら役割を意識し区政に参画</li> <li>*多様な層が参画できる仕組みができています</li> <li>個人・家庭・団体など参画の形態が多様化</li> <li>男女が対等に参画できている</li> <li>在勤者、外国人、子どもも参画できている</li> </ul> <p>&lt;区民の声が活かされる行政・議会を実現&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*区議会運営ちゃんとやってほしい</li> <li>区民が参加できるよう夜間開催もある</li> <li>区議会は10人位の賢人会議になっている</li> <li>区議の何名かはしがらみのない無給議員</li> <li>*区民の声を活かすしくみができています</li> <li>施設計画段階でも、運営・管理段階でもに区民の声がいかされるように</li> <li>街角ポスト等の設置による区民の声の収集</li> </ul>
将来像 (タイトル)	— (行政の新評価システム)	わかりやすい行政	— (区民・事業者・行政の参画)
将来像に向けた問題点・課題	<p>&lt;評価システムを知らない、仕組みが難しい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現行評価システムをほとんどの区民は知らない</li> <li>評価方法・対象事業が区民に知らされていない</li> <li>現行評価は専門的すぎる。区民の参加は難しい</li> </ul> <p>&lt;評価の内容はこれでよいのか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今の評価は行政内部の自己評価のみ</li> <li>区民が評価に参画していない</li> <li>評価の反映方法や評価基準が不明・不透明</li> </ul>	<p>&lt;職員の区政へのビジョンが共有されていない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのような行政を目指すのか共有されていない</li> <li>新しい職員も次第に言い訳がうまくなっていく</li> <li>区長への手紙も十分な討議による回答でない</li> </ul> <p>&lt;協働・参画のための行政の準備ができていない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前例主義、できる可能性よりもできない理由</li> <li>協働の場がまだ十分に確保されていない</li> </ul> <p>&lt;組織や施設の内容や位置づけがわかりにくい&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同じような仕事の課が異なる部に併存している</li> <li>施設も名称や内容が類似しているものがある</li> </ul>	<p>&lt;協働のための仕組みがまだできていない&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の運営・管理が協働でない</li> <li>審議会委員の選定のあり方</li> <li>参画を求める区の事業が情報公開不足</li> </ul> <p>&lt;関心の薄い層、通勤者の参画が弱い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関心の薄い人を巻き込むことができていない</li> <li>通勤・通学者が意見を言える場が少ない</li> </ul> <p>&lt;ボランティア活動に対する支援策が不十分&gt;</p>
取り組みの方向性／アイデア事業	<p>&lt;評価する人、組織を新たに作る&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→第三者評価委員会が想定されているが内容、評価方法などは本日検討予定</li> <li>→上記は単に評価だけでなく、その後の対策の提言、一定期間後の再評価なども行うことを想定</li> <li>→評価と表裏一体だが将来像にある「予算編成」のあり方については具体的な提案はなくてもよいか。（その場合、現状の問題点はなにか）</li> </ul>	<p>&lt;区民協働のコーディネート組織の設置&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区民と職員で構成される「区民の声を活かしま省」を設置し、迅速な対応を実現する</li> </ul> <p>&lt;協働・参画、スリム化を進める情報ツールの整備&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→情報ツールを用いたソフトの取組が重要であり、区民・区・事業者が分担して行っていく事業を本日検討予定</li> <li>→公共サービス提供方法（主体）についての「わかりやすさ」に検討しなくてよいか。</li> </ul>	<p>&lt;協働、ボランティア支援のための仕組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→具体的な仕組み、新たな層を取り込んでいく仕組みについては、本日検討予定</li> <li>→求められる仕組みのイメージについては、将来像の部分でかなり言及されているので参考にしようか。</li> <li>→重点検討対象から外れた「議会」の取り扱いについて検討（Aグループとの棲み分けなど）</li> </ul>

取組の方向性、アイデア事業における区と区民、市民団体、事業者等の役割分担を明確に

# 第5回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

Aグループ

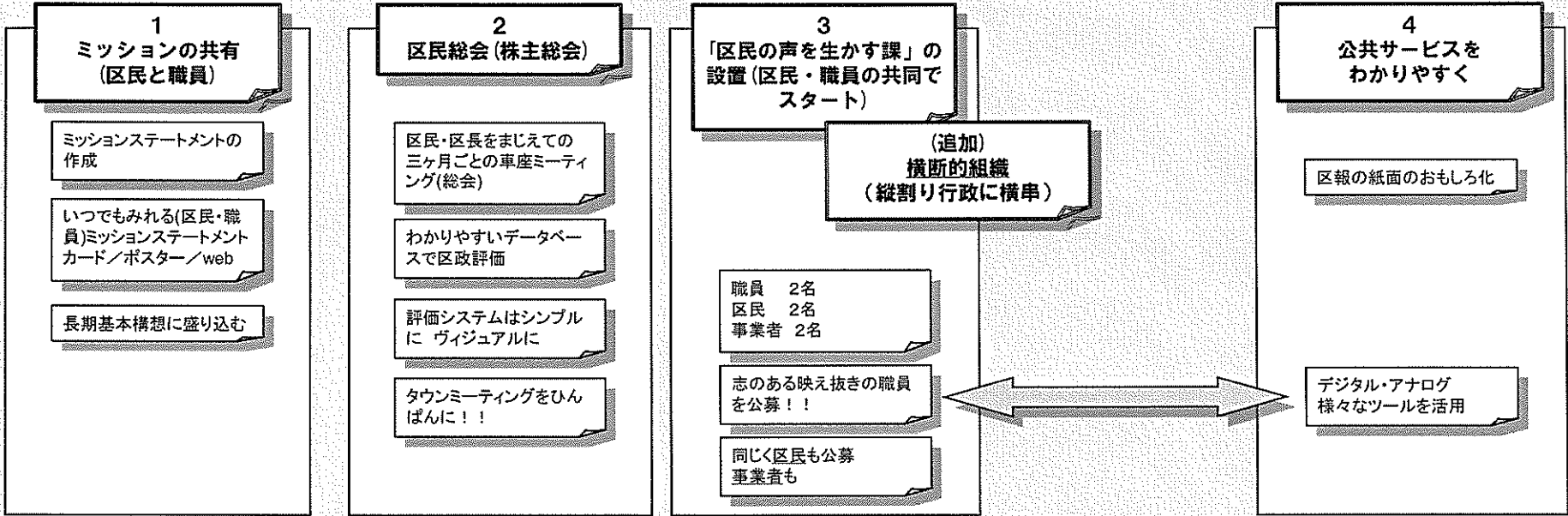
3者(区・区民・事業者)協働による行財政評価の実現  
 - 10年後の将来像 -



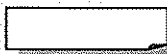
# 第5回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

Bグループ

わかりやすい行政  
江東区のめざすべきビジョンを実現する為の  
ミッションを区民・職員共に共有する



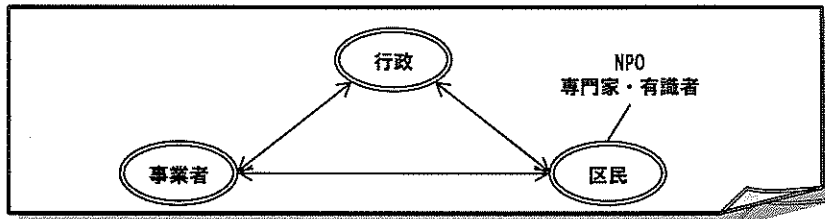
タイトル(複線)



問題・課題・解決策・アイデア(実線)

# 第5回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

## Cグループ



テーマ “みんなで作る江東区”  
 ～区民・行政・事業者一体化による責任を持った参画～

### 1 参画 支援のしくみづくり

ボランティア(清掃など)活動に対する支援のしくみ。

↓

特技・能力人材登録しくみづくり

### 2 参画の場を設ける

情報公開 INは42%しか

↓

区民と参画のページを実現

↓

「審議会」への区民参加

(例) 施設の運営に参画

↓

①全館の利用者懇談会

↓

運営・プログラムに協力・参画

通勤・通学者が意見を言う場がない/少ない

↓

発言の場を設けるしくみづくり

↓

ヒアリングの場

災害時の三者一体化の実現してるのか

↓

公共施設の運営を共同を実現できていない  
 例:文化センター、公園

### 3 情報の共有

関心の薄い人をどのように巻き込むか

江東区を寝るだけの場の人(区外で働く・区外で学ぶ)

例:新しい住民 しくみづくり

↓

あらゆる層の住民を含んだネットワークづくり  
 人と人とのネットワーク

区の介護のPR  
 保育ママのシステムPR不足

↓

PR確立  
 “レベルアップ”  
 現実化に向けてのPR

(広報・ケーブルTV)IN

問題点・課題(実線)

解決策・アイデア(点線)

# 第5回 江東区グループ討議記録 行財政・協働

## 第5分科会 全体の将来像

